

今回自由党力保守党ヲ破リ得タルハ全党カ州ノ政權ヲ掌握セルコト既ニ拾三年ノ久シキニ亘リ而シテ一党カ多年政權ヲ握ルハ自ラ弊害百出ノ虞アリト言フ「サー、チャールス、タッパー」(Sir. Charles H. Tupper)等ノ保守党選挙反對運動力大ニ預テカアリタルト同時ニ保守党首領「パウザー」カ前首領「サー、リチャード、マクブライド」ニ比シ衆望ヲ担ハサリシニ帰因スルモノト見ルヲ得ヘク而シテ今回B・C・州ノ政變カ当地邦人労働者排斥問題ニ関シ如何ナル變化ヲ来スヘキヤニ付キ査スルニ領政府当局者ト州政府当局者トカ同一党派ニ属スル場合ハ万事都合ナルモ領政府当局者ト州政府当局者トカ今回ノ如ク其ノ党派ヲ相異ニスルニ至リタル場合ハ時ニ感情上甚タ円滑ヲ欠キタル例不尠概シテ面白カラサル結果ヲ齎スコトアリ殊ニ新内閣

々員ハ大概曾テ東洋人労働者排斥ヲ称導シタル者ニシテ総選挙ニ際シ東洋人排斥ヲ標榜セシ鉅務大臣ノ如キハ之ヲ政綱ノ一トシテ起チ東洋人排斥熱ノ最モ旺盛ナル炭坑地域「ナナイモ」(Nanaimo)選出議員ナルカ故ニ選挙民ノ期待ニ対シテモ来ル州議會ニ於テ多少東洋人労働者排斥ノ議論ヲナスヘシト予想セラレ候
乍併現下我帝国ガ英帝国ノ同盟国トシテ共同ノ戦争ニ從事シツツアルノ一事ハ大ニ排斥ノ声ヲ鎮靜シ居ル事争ハレサル事實ニシテ歐洲戦争ノ継続中ハ素ヨリ往年ノ如キ極端ナル邦人排斥ノ議論ヲナス者アラサルヘシト思考セラレ候
右及報告候 敬具

本信写送附先 オタワ總領事

事項九 「オーストラリア」ニ於テ本邦移民排斥關係一件

二八二 六月二十四日 在シドニー清水總領事ヨリ
石井外務大臣宛

千九百十五年中ニ於ケル濠洲移民ノ状況ニ関
シ報告ノ件

附屬書 千九百十五年濠洲移民出入状況

公第七四号

(八月七日接受)

大正五年六月二十四日

在「シドニー」

總領事 清水 精三郎 (印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

本件ニ関シ別紙報告書及提出候条御査閱相成度候 敬具

(附屬書)

千九百十五年濠洲移民出入状況

第一、入国移民及入国拒絶

此程聯邦政府ヨリ議會ニ提出シタル移民法施行成績報告ニ依レバ千九百十五年中濠洲ニ入国シタル移民總數ハ七万四百三十六人ニシテ前年ノ十一万七百人ニ比シ大ニ減ジ戰

九 「オーストラリア」ニ於テ本邦移民排斥關係一件 二八二

前千九百十三年ノ十四万二千五百一十一人及千九百十二年ノ十六万三千九百九十人ニ比スレバ約半数ニ過ギズ
此内大部分ハ英國人ニシテ六万五千五百五人即チ總數ノ約八割五分以上ヲ占ムルモ前年ノ九万三千四百四十人、前々年ノ十二万二千四百四十人ニ比スレバ激減シタルヲ知ルベシ
英國人ニ次グハ支那人ノ二千二百八十七人「スカンディナヴィア」人ノ千二百二人及北米人ノ千六十六人ナリトス右表中壤洪人、独逸人、土耳其人ノ入国ハ俘虜ナリトス其詳細増減左ノ如シ

千九百十五年中各国人入国數

(+)印ハ前年ニ比シ増加セルヲ示ス)

一、歐羅巴人

英吉利人	六〇、五〇五	スカンデナヴィア人	一、二〇二
独逸人	八九〇	露西亜人	七二六
伊太利人	六四九	仏蘭西人	五九五
希臘人	三六一	丁抹人	三〇五
西班牙人(+)	二〇六	和蘭人	一八二

白耳義人(+)	一〇五	瑞西人	六四
マルタ人	五七	塊洪人	二七
ブルガリア人	一〇	ルーマニア人	六
波蘭人	二	葡萄牙人	一
土耳其人	一	其他	三
小計	一	六五、八八三	
二、亜米利加人			
北米人	一、〇六六	南米人	五
亜米利加土人	九	西印度人	二
小計	一、〇八三		
三、亜細亞人			
支那人(+)	二、二八七	日本人(+)	四二三
馬來人	二八五	印度人	一四四
比律賓人(+)	一五	シンガリ人(+)	六
シリア人	五	阿富汗人(+)	三
爪哇人	三	亜刺比亞人	二
小計	三、一七三		
四、其他有色人種			
パプア人	一八五	太平洋諸島人	三七
マオリ人	一六	テモア人	二
其他	五八		

合	小	計	二九八
計	計	——	七〇、四三六

右表ニ依レバ	歐羅巴人ノ入国ハ前年ニ比シ実ニ三万九千七百九十人ヲ減シ	亜米利加人ノ入国ハ五百四人ヲ減シ	タルガ
亜細亞人ノ入国ハ	四百四十二人ヲ増加シ	タリ但シ	亜細亞人ノ入国ハ殆ンド全部ハ既往者ノ再渡来ナリトス
千九百十五年中ニ於ケル	外国人ノ入国拒絶ノ数ハ五十六人ニシテ前年ト大差ナシ	其拒絶ノ理由及国別左ノ如シ	

國	箱	書取試験	白痴及心神耗弱者	犯罪者	醜業婦	契約労働者	脱船者	合計
英國人	二	二	三	二	一	二	八	
支那人	二	二	二	二	二	二	四	
シリア人	三	三	三	三	三	三	三	
シンガリ人	一	一	一	一	一	一	一	
マウリシア人	一	一	一	一	一	一	一	
日本人	二五	二	三	二	一	二	三	五六
計	二五	二	三	二	一	二	三	五六

第二 有色人種ノ出入

千九百十五年中ニ於テ濠洲移民取扱上ニ於テ所謂有色人種ト看做サルルモノノ出入数左ノ如シ

永住権者	五一	免除証書所持者	一七
政府派遣者	四	旅行券携帯者	六六
真珠貝採集者	二七六	逃亡者	九
計	二七六		四二三

又日本人ノ入国経路ヲ見ルニ左ノ如シ

海峡殖民地ヨリ百九十三人、日本ヨリ百二十五人、東印度ヨリ八十一人、支那ヨリ八人、新西蘭ヨリ六人、「ニューカレドニア」島、英、比律賓島及北米合衆国ヨリ各々二人南米及南洋島各々一人ナリトス

二八三 十一月十日 在シドニー清水總領事ヨリ
寺内兼任外務大臣宛

濠洲ニ於テ真珠貝採取ノ有色労働者ニ関シ連

邦政府調査委員報告ノ件

附記一 大正八年一月二十日内田外務大臣宛清水總領事宛

電報第二号

採員有色労働者雇用禁止ノ実行延期ニ関シ問合ノ件

二 大正八年二月三日清水總領事宛内田外務大臣宛電報第二号

右雇用禁止ノ実行無期延期ノ件

別	入国数	退国数	差引減(+印増)
支那人	二、二八七	三、一〇八	八二一
日本人	四二三	八五九	四三六
馬來人	二八五	三六三	七八
パプア人	一八五	七三	一一二
印度人	一四四	一八八	四四
太平洋島人	三七	四三	六
比律賓人	一五	一四	一
亜米利加土人	九	一五	六
シンガリ人	六	七	一
阿富汗人	三	一	二
爪哇人	三	三六	三三
西印度人	二	三	一
亜刺比亞人	二	一一	九
テモア人	二	九〇	八八
其他	六三	三七	二六
計	三、四六六	四、八四八	一、三八二

右表ニ依レバ千九百十五年中有色人種ノ退国数ハ入国数ニ超過スルコト千三百八十二人シテ支那人ノ八百二十一ノ筆頭トシテ日本人四百三十六人、馬來人七十八人、印度人四十四人、「テモア」人八十八人ノ夫々減少ヲ見タルガ独リ「パプア」人ハ百十二人ノ増加ヲ見ル

第三、日本人入国者類別

千九百十五年中日本人入国者ハ四百二十三人ニシテ前年入

公第一五九号

(十二月十六日接受)

大正五年十一月十日

在「シドニー」

總領事 清水 精三郎(印)

外務大臣伯爵 寺内正毅殿

現在有色人殊ニ主トシテ日本人ノ從事スル濠洲真珠貝採集労働ヲ白人ノ掌中ニ収メントスル方針ハ濠洲政府ノ多年抱持スル伝来的政策ニシテ政府ハ其公刊文書ニモ之ヲ公言シ(例之政府年鑑但シ数日前発刊セル本年度年鑑ニハ此部分ヲ削除セリ)屢々調査ヲ遂ゲ又ハ實際白人ヲ養成シテ就業ヲ試ミサセタルコトモアリシガ其実績ハ何レモ思ハシカラザリシヲ以テ政府ノ声明セル有色労働雇用禁止期限モ延期ニ延期ヲ重ネテ最後ハ大正二年九月ノ頃其雇止期限ヲ本年十二月三十一日ト決定シタル次第ハ同年九月二十七日附公第七六号矢田部総領事代理ヨリ及報告置候処開戦後政府ハ之ヲ更ニ大正七年六月三十日迄延期シテ其後ハ潜水者及綱手ガ欧羅巴人ナル場合ニ限り有色人ノ使用ヲ許スコトトシ同時ニ戦時中ハ本件調査方ヲ中止スルコトニ一旦内定セシガ採貝当業者ハ斯クテハ事業計畫上不便尠カラズトテ政府

ニ対シ採貝労働ニ対スル政府ノ方針決定方ヲ請願スル所アリタルヲ以テ昨年十月二十九日政府ハ此請願ヲ容レテ予テ任命シタル五名ノ調査委員ヲ督励シ本年四月二十日以降西濠洲ニ於テ採貝業ヲ調査為致候其調査報告書ハ最近当館ニ接到シタルガ之レニ依レバ調査委員ハ採貝業ニ於ケル欧羅巴人失敗ノ実例ヲ示シテ欧羅巴人ハ潜水ニ於テハ何國人ニモ劣ラサルモ亜細亞人ニ特有ナル機能又ハ触覚ヲ欠グ為ニ海底ニ於ケル採貝ニ於テ著シク劣ルヲ以テ(而シテ此亜細亞人特有ノ機能又ハ触覚ハ野蠻人ガ人畜ヲ其足跡ニ依リ追跡シ得ル特殊ノ神経作用ニ類似スルモノナリト強弁セリ)斯業ノ労働ニ白人ハ全然不適当ニシテ又其労働効程ト就業上ノ危険トヲ比較考察スレバ白人ニ向ツテ此種労働ヲ奨励スルノ理由ナク採貝労働ヲ現状ノ下ニ継続スルモ敢テ白人濠洲主義ノ抛棄ヲ意味スルモノニ非ズト論ジテ前回報告ノ意見ヲ變更シ最後ニ政府ハ潜水ニ関スル学校ノ設立、真珠貝ノ養殖及細工等ニ対シ公金ヲ費スノ無要ヲ述ブルモ潜水具又ハ採貝器等ノ發明ニ対シ奨励金ヲ下附スルノ必要ヲ勸奨致居候右調査委員ノ意見及四圍ノ事情ヨリ推察スルニ濠洲政府ハ

採貝労働ニ白人濠洲主義ヲ絶対ニ応用スルノ不可能ナル所以ヲ近來漸ク覚知シタルラシク今後仮令労働社会ノ人氣取リニ調査ヲ再試スルコトアルニモセヨ我採貝労働ヲ執拗ニ驅逐セントスルノ宿案ハ早晚断念スルコト可相成乎ト思

考致候 敬具

(附 記一)

大正八年一月二十日内田外務大臣ヨリ清水總領事宛電報採貝有色労働者雇用禁止ノ実行延期ニ関シ問合ノ件

第二号

有色人採貝労働者雇用禁止ノ実行ハ大正七年六月三十日迄延期セラレタル旨大正五年十一月十日附公第一五九号ヲ以

テ報告アリタル処右ハ其後更ニ延期セラレタリヤ若シセラレサリシトセハ右ニ依リテ失業セル本邦人同業者ハ如何ナリタリヤ御回電アレ

(附 記二)

大正八年二月三日清水總領事ヨリ内田外務大臣宛電報採貝有色労働者雇用禁止ノ実行無期延期ノ件

第二号

貴電第二号ニ関シ

有色人採貝労働者雇用禁止ノ実行ハ其後更ニ無期延期トナレリ